

町では、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行う取り組みについて、毎月お伝えします。

【歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



内谷春日神社太々神楽の面がきれいになりました！

～内谷春日神社例大祭内谷太々神楽奉納～

内谷春日神社太々神楽は、明治15年(1882)から奉納されています。

太々神楽で舞人たちが付けている面は、伝承当時の明治20年頃に、村人たちの寄付により購入したものです。現在も大切に受け継いでいる面ですが、長い時間の中でひび割れなどの傷みが見られるものがありました。

全12面のうち、特に傷みの激しい「猿田彦面」、「白狐面」、「言代面」の修繕を平成30年度に行いました。

福島県文化財保護審議会懸田弘訓副会長に助言をいただきながら、専門の職人の手で伝承当時の姿に近づきよう修繕が施されました。

修繕は、現状の塗りを一度剥ぎ、もともとはどんな顔が描かれ、髭などはどんな素材が用いられていたのかなどを確認した後、下地を塗り重ね、猿田彦面は漆、白狐面・言代面は胡粉(貝殻を粉末状にした顔料)塗りで美しく仕上げました。

4月21日の内谷春日神社例大祭では、修繕された白狐面と猿田彦面を付けて舞う、「宇賀」「猿田彦」をはじめとする13座が奉納されました。

130年以上伝承されてきた面を、太々神楽の大切な一部としてこの先も永く受け継いでいくこととします。



▲4月21日奉納の様子

町内文化財の解説板が増えました！

町内に存在する文化財のうち、7つの文化財に解説板を追加設置しました。文化財の由来や石碑に刻まれている文の意味などを解説しています。

ぜひ現地へ足を運び、国見のたからものの魅力を再発見してみてください。

解説板を設置した文化財

- ①石母田城跡
(出溜虎口・荒町虎口・搦手口)
- ②石母田供養石塔
- ③筆塚記碑
- ④知道軒戸賀崎翁碑
- ⑤経ヶ岡
- ⑥義経の腰掛松文学碑
- ⑦沼田神社本殿彫刻



▲旧奥州道中国見峠長坂跡筆塚記碑・知道軒戸賀崎翁碑



▲義経の腰掛松文学碑



▲石母田城跡(出溜虎口)

▶奨励金交付式後にみんなで集合写真



【第46回全国高等学校選抜卓球大会】

▶小池和妃(高1)

【第50回東北高等学校インドアソフトテニス大会】

▶引地佑菜(高2)、岩城綾音(高1)

【第8回東北高等学校新人体育大会】

▶バレーボール競技/工藤彰悟(高1)

【第31回東北高等学校剣道選抜優勝大会】

▶菊地拓実(高2)

【第48回福島県高等学校ソフトテニスインドア選手権大会】

▶引地佑菜(高2)、岩城綾音(高1)、菊地順子(高1)

【第38回福島県高校選抜剣道優勝大会】

▶菊地拓実(高2)

【第28回福島県中学インドアソフトテニス大会】

▶ソフトテニス競技/佐藤菜子他7名

【第13回福島県Sリーグ決勝大会】

(県北中学校 ソフトテニス部)

【平成30年度福島県家庭の日作品コンクール】

▶作文の部(優秀賞)/吉田真彩(中2)(優良賞)/佐藤頼(小6)、清水万優子(中2) ▶絵画の部(最優秀賞)/岡田輝輝(小4)(優秀賞)/佐藤袖奈(小6)(優良賞)/佐藤紗香(小4)、菊地恭平(小5)、遠藤真奈(小6)

国見町青少年育成町民会議は3月28日観月台文化センターで、県大会や東北大会、全国大会に出場したみなさんに奨励金を交付しました。

国見町青少年育成町民会議・奨励金交付
がんばるみなさんを応援



「大好き! 国見町」



佐野 雪絵

国見小学校

「夢の国の名前」



佐久間 美咲

「クリエイティブな頭の中」



井砂 超

「みんなの集まる木」



岡崎 玲奈

小さな天才たち